



手術の後のこと

対象疾患: 2泊3日の予定手術(鼠径ヘルニア・陰嚢水腫・停留精巣・移動精巣・臍ヘルニア など)

● 今後のスケジュール

□ 術後初回外来は手術から概ね1週間後の予定です。正確な日程は担当医とご相談ください。

● 手術の傷について

- 痛みが強くなる場合は、内服鎮痛薬を使用しましょう。
ただし、鎮痛薬を無制限に使用すると、体に負担となります。用法を守り、それでも我慢出来ない場合は、当院にご相談ください。
- 一般的に、痛みは時間の経過とともに軽くなっていきます。もし、明らかな原因がないのに、痛みが強くなる場合は、傷のトラブル(感染など)が起こっている可能性があります。
傷の赤みや腫れがひどくなっていないか、膿などが出ていないかを確認してみましょう。
- 傷の保護剤は無理にはがさず、次回外来までおいておきましょう。

● 家での過ごし方

- 手術直後の1-2日程度は発熱することがあります。手術した部位に問題がなく、食事や水分摂取が可能ならば、ゆっくり休みましょう。
- 食事について
 - ・基本的に避けるべきものはありません。
- 入浴について
 - ・手術の翌日からシャワー浴が可能です。
 - ・次回外来で傷に問題がなければ、入浴可能です。
- お出かけについて
 - ・基本的に制限はなく、退院翌日から、本人がしんどくなければ通園・通学が可能です。
- 運動について
 - ・日常動作に制限はありません。
 - ・軽い運動は次回外来で傷に問題なければ可能です。
 - ・本格的な運動や傷口にものが直接当たること(鉄棒など)は、手術の後1ヶ月程度は控えましょう。
- 予防接種について
 - ・手術の後2週間は予防接種を控えましょう。その後は、特に制限はありません。

● こんなとき、ご相談ください

- 痛くて我慢できない
- 傷からの出血がひどい
- 傷が開いてしまった
- 強く腫れている
- 傷の周りが赤い
- 傷から膿が出ている
- 手術前の症状が出てきた

